

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	函館短期大学			設置者名	学校法人 野又学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成27年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	食物栄養学科	100人	中二種免(家庭)	昭和37年度	85人	19人	5人	1人
			栄教二種免	平成18年度			17人	
	保育学科	100人	幼二種免	平成21年度	65人	59人	59人	22人
入学定員合計		200人	合計		150人	78人	81人	23人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成28年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成28年12月15日（木）

実地視察大学：函館短期大学

実地視察委員：高旗浩志委員，太田光洋委員，遠藤貴広委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、おおむね問題無く実施されている。
- 教育課程について、「2.」で指摘するように、教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準等の観点から是正すべき点が確認されたため、その点については、速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 今回の実地視察のそれぞれの指摘事項に的確に対応する等、現在の教職課程検討委員会が機能していることは確認できたが、教員養成に対する理念・構想をより具現化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織を一層充実させるように努めていただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について、教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目や、科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目、他の科目区分で実施することが適当な授業科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに、科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように、内容を再度検討すること。なお、シラバスの記載内容及び記載方針を定め、法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 「保育内容の指導法」に関する科目について、各領域の専門的事項のみを必修科目とするのではなく、指導法に関する内容が必ず取り扱われるようシラバスや履修方法を再度検討すること。
- 教職課程が想定する履修時期とはかけはなれた時期に配当されている科目が見られるため、履修の時期や順番について検討いただきたい。
- 一部の教員に過重な負担とならないように留意しつつ、教職課程を構成するそれぞれの科目を担当するにふさわしい研究業績をもつ教員を、適正に配置するよう努めること。

3. 教育実習の取組状況

- 大学の近隣の学校・園や附属幼稚園を教育実習先として確保しているほか、全ての教育実習先に担当指導教員が巡回指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている状況が確認された。
- 今後は、地元教育委員会や各学校・園との組織的な連携を行うとともに、学生の教育実習における取組を的確に評価するために、短期大学全体として教育実習評価票の様式や評価項目の刷新に努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教職センターを発足して各学科で部屋を確保するとともに、それぞれに助手を配置するなど、組織的に手厚い支援を行う体制が確認された。
- 食物栄養学科においては、教職クラスを設けたり、担任制を行ったりするなど、きめ細やかな指導が行われていることが確認された。
- 今後は、教員免許状の取得に係る学生便覧の記載を、より学生にわかりやすいものになるよう工夫していただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 「ボランティア実習」や春休みを利用した近隣の小中学校への給食指導活動等の現場体験を行っていることは評価できる。
- 函館市の委託を受けて、プレイルームである「つどいの広場」を開設し、保育学科の学生と地域のニーズを踏まえた取組を行っていることは評価できる。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- ピアノ個人練習室等の充実した施設が確認された。
- 図書については、子ども・子育て支援新制度に伴って、幼保連携型認定こども園関連書籍も含めた新刊や、学習指導要領の充実を図っていただきたい。

7. その他特記事項

- 教職課程の質向上のための具体的な取組を行っている点は評価できる。ファカルティ・ディベロップメント等を通じ、教職課程・免許法令に精通した事務組織の充実も含め、更なる教職課程の充実・発展に取り組んでいただきたい。
- 事前の質問事項のすべてについて、回答のための補足資料を用意し、具体的な説明があったことは評価できる。